

令和 7 年度 第四回 芳川小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- | | | |
|---|--------|--|
| 1 | 開催日時 | 2025年10月20日(月) 13 時50 分から15時10 分まで |
| 2 | 開催場所 | 芳川小学校 CS ルーム |
| 3 | 出席委員 | 鈴木幸彦、犬居和賀代、林容子、佐藤祐輔、海老名俊樹、鈴木麻里、前島杏里 |
| 4 | ワザバー | 袴田唯之(南陽協働センター) |
| 5 | 学校 | 結城知則(校長)、大石智香子(教頭)、鈴木由香(CS 担当教員)、
内田由佳(CS ディレクター) |
| 6 | 教育委員会 | 鈴木 陽子(教育総務課) |
| 7 | 傍聴者 | なし |
| 8 | 会議録作成者 | CS ディレクター 内田由佳 |
| 9 | 議長の選出 | |

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、鈴木麻里委員が議長を務めることを申し出、全員異議なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 温かく人とかかわる力を育むために
- (2) 全国学力・学習状況調査の結果より

11 会議記録

司会の大石から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 温かく人とかかわる力を育むために

・夕方、4時～5時の公園を見に行くが、問題に出会ったことはない。人が見てないところの話だろうと思う。不登校気味の子が自分に声をかけてくれるが、なぜ学校に来られないのか不思議である。誰かが子供たちの集まる場所に顔を出すだけでも全然違う。(幸彦委員)

・誰か大人が見ている環境は抑止力になるが、これ以上は学校でも対応は難しい。社会的に大人も心に余裕がなくなっているのでは。(海老名委員)

・大人の目は抑止力になる。自分が来る前に喧嘩をしているのかもしれない。喧嘩などで、興奮している子がいたら、まずお互いを離して落ち着くまで時間を稼ぐのがよい。何かと学校に頼りがちだが、放課後は家庭の対応になるのでは。(佐藤会長)

・異年齢、異学年の「いざこざ」を含めて、その中で育ってほしい。時代の価値観が変わってきているが、個人的には事故や事件でなければよしとする、というような広い視点で考えてほしい。子ども会などが盛んな地域とそうでない地域でも状況は異なる。地域の人を学校に呼び込む仕掛けはないか。子供たちがいるという場(=学校)が近い存在になる。トラブルがあったときの子供たちの傍観は

大人の真似でもあるのでは。周囲の大人も、トラブルには関わらないように助言することも多いのでは。(麻里委員)

・言葉について、ボランティア活動中にとっても悪い言葉を使っている場面がよくみられる。手話で悪い言葉を使うことも。その場で注意することがある。校外でも石を投げたり、ランドセルを振り回していたりするのを注意した。注意できるという関係性は必要。(杏里委員)

・昔は、とは言いたくはないが、このような当たり前すぎる事が話題になるのは少なかった。家庭教育の低下も一因では。学校に預ければ子供が理想的に育って帰ってくるという期待が大きい。学校に任せる意識が強い保護者も多いのでは。地域でイベントも少なくなり、大人との交流が少ないのも一因なのか。(犬居委員)

・学校ができることは何か。子供たちは、かなりの時間を学校で過ごし育っていく。教室という社会、「対教師」、「対友達」という他者とかかわり協働して育つ。その中で温かい言葉が生まれる。先程、1年生の男性担任が、顔を見て挨拶するように促したら、挨拶をやり直してくれた。また、家庭環境は影響が大きい。寂しい子たちへの手当ても大切。登下校で声をかけるなどしていきたい。(林委員)

・地域のイベントは減っていく。(幸彦委員)

・触れ合う機会の確保は課題。(佐藤会長)

・ある町の子供のイベントで、輪投げなどやっても子供が来ないのも現状。地域の集まりにも来ない。子供も塾などで忙しい。親が地域とのかかわりを止めている(前島委員)

(2) 全国学力・学習状況調査の結果より

・高ポイントの項目に、「目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりする」とあるが、たくさん読むことで、目的に応じて文章を読み解く力がつく。図書室内には、読書量の掲示があり、展示もすばらしい。(林委員)

・タブレットが自宅に2つある状態も多い。子供たちは操作や機能をよく知っている。学校ではタブレットはどう活用しているのか。(佐藤会長)

→宿題や日記もタブレットで使用しているため、子供たちは持ち帰る。内容としては調べ学習や意見をクラスで共有するなど様々な利用をしている。予定や宿題の配信にも使用。(学校)

・情報などは、自分が見たいものしか取り入れない。日本人の傾向として決めつけが多いと言われている。(学校側の説明を受けて)4年生が取捨選択できる状況を与えられるのは良い。複数の選択肢を見つけてから、取捨選択することを身に付けてほしい。(海老名委員)

・朝の読み聞かせを復活してほしい。(麻里委員)

・協働センター祭りは、子供が多くすごくよかった。(幸彦委員)

・社協のブースにお土産を置いたら、すべてはけていた。イベントでは子供の興味をひくものがあると良いし、民生委員も協力する。(犬居委員)

- ・地域とは別に少年団などの活動があるために、親も活動の場を選んでいる。(海老名委員)

- ・親世代が主催して、小学生が企画し親がサポートするのも良い。(前島委員)

12 報告

ほうがわクスノキ応援団 放課後土曜学習実施計画書、協議会自己評価、学校評価についての報告があった。

13 連絡

- ・令和7年度第5回の協議会は、2026年2月16日(月)午後1時30分から CS ルームで開催する旨の報告があった。

- ・次回の議長は海老名委員が務めると申し出、全員異議なく承認した。